



笑顔でハ休°-ズ! テーブルの仲間で(H.20)



松商61会の原点は2年6組の万入会(S.38)



今年も大いに盛り上がりました (H. 27)



自己紹介か? 恩師 岡石先生の顔も(S.61)

つよつよさんのお楽しみ日記 ③2

ろくいち

「松商六一会新年会」の巻

今年も一月十一日恒例の私達、松商六十一期卒業生の同級会が東京第一ホテル松山で開催されました。

昭和三十八年の卒業で以後毎年新年会を行っていますからもう五十年以上も続いていることとなります。当初は毎年、正月二日に行っていました。が十数年前から子供が結婚し孫を連れて帰る等忙しくなり、三連休の成人式の日に変更しました。同級会が毎年々、今まで何故続いたかを考えてみますと……

- 一・会長、副会長(世話人)の任期を二年とした(責任を持って計画準備)
- 一・無理に人集めをしない(毎年しますから来られる時にきてください)
- 一・毎年定例日に行う(予定が立てやすい)

お世話人が重荷にならないようにと二年間の任期制にし順番に引き受けることにしたのが良かったのではないかと思います。

さて、皆さんも同じだと思えますが同級生はいいものでいつになっても、昔に返って同じ感覚でいろいろな話が出来ます。

又、松商は実業学校ですので先生と生徒の距離も近く、個性豊かな先生ばかりでしたので今の時代には考えられないようなエピソードも数多くあります。

恩師にも毎年お越しを頂いておりましたが年々一人減り二人減り、今では残念ながらご生存の先生はいなくなりました。と言っても同級会の席では今も恩師の話が必ず出てきますし、我々の心の中では輝き続けています。

今年もワイワイガヤガヤの青春時代に戻っての楽しい同級会もあつと言う間に二時間が過ぎました。私達は今年が年男・年女(申と酉)です。次の次までとは言いませんがせめて次の年男までは元気でいようと誓い合って来年の再会を約してお開きとなりました。



中村剛志

平成28年2月号